

相模女子大学創立125周年記念
グリーンホール相模大野開館35周年記念
南区誕生15周年記念

第37回 相模原薪能を開催します

相模原市の夏の風物詩、「相模原薪能」を8月24日(日)に開催します。

日本古来の伝統芸能である能楽を郷土「相模原」に定着させ、本市の文化の向上を図ることを目的として、毎年実施している催しです。

今回の公演では、能「羽衣(はごろも)」などを上演します。

- 1 日 時 令和7年8月24日(日)
開場:午後1時 開演:午後1時30分(午後3時50分終演予定)
- 2 会 場 相模女子大学グリーンホール・大ホール(相模原市南区相模大野4-4-1)
- 3 演 能 観世流(かんぜりゅう)
- 4 演 目 仕舞「鶴亀(つるかめ)」
仕舞「老松(おいまつ)」
仕舞「猩々(しょうじょう)」
狂言「棒縛り(ぼうしばり)」
能「羽衣 和合之舞(はごろも わごうのまい)」
- 5 座 席 全席指定(入場にはチケットが必要です。)
S席 500円 S席券発売:7月19日(土)10:00~
※ホール前方から中ほどの演目が見やすい座席となっております。
A席 無料 A席券取扱開始:7月26日(土)10:00~
[チケットのお求め・お問合せ]
・チケットMove電話予約(042-742-9999)
・チケットムーヴ.net(<https://move-ticket.pia.jp/>)
※1枚につき手数料495円がかかります。
・チケットMove窓口(S席A席ともに、取扱い初日は、窓口での直接販売はありません。)
- 6 主 催 公益財団法人相模原市民文化財団、学校法人相模女子大学、相模原市

※当日取材を希望される場合は、別紙「撮影・録音・録画 申請書」に必要事項をご記入いただき、開催3日前までに、相模原市民文化財団にFAXで送付してください。

(FAX番号:042-749-2772)

問合せ先
文化振興課
直通042-769-8202

<申請書式 B>

※主催者(能楽協会正会員及び正会員で構成される団体以外)、
撮影(録音)希望者、撮影(録音)した写真・音源・映像の利用者用

撮影・録音・録画 申請書

■本書式使用に関する遵守事項

- 必ず公演前日迄に必要な事項を記入の上、関係者の署名を得ること。当日の出演者への署名依頼は禁止。
- 本書式に関する責任は申請者にあるものとする。申請者が撮影(録音)者と異なる場合も、撮影(録音)者の責任は申請者にあるものとする。
- 書式の加工や改変等は行わないこととする。
- 記録・保存以外の目的で撮影(録音)する場合は、利用者の非営利(使用にあたって対価が発生しないもの)・営利を問わず、別途、覚書・契約書の締結を前提とする。
- 成果物の複製、転用、転載禁止。使用の際は必ず明記すること。
- 使用に際し、スペースのある限り、演目・流儀・演者名の順で、クレジット表記をすること。

名刺添付欄

又は「申請者連絡先」欄に記入

①申請者 記入欄

* 該当する口に✓

申請者名					
申請者連絡先	※名刺添付 又は以下に記入 <table border="1"> <tr> <td>会社名</td> <td>部署・肩書</td> </tr> <tr> <td>連絡先 電話・E-mail</td> <td></td> </tr> </table>	会社名	部署・肩書	連絡先 電話・E-mail	
会社名	部署・肩書				
連絡先 電話・E-mail					
該当公演情報 【注】チラシ又は当日プログラムを必ず添付。	年 月 日 公演名				
収録方法	<input type="checkbox"/> 写真撮影 <input type="checkbox"/> 映像撮影 <input type="checkbox"/> 録音のみ				
使用目的 該当する目的全てに✓ 【注】本書式は、一次利用(右記に記入の目的)のみ使用可能。 ※右記以外の目的での使用(二次利用)が生じた場合は権利処理が必要。	<input type="checkbox"/> 公演主催者()の記録・保存及び、広報利用。 <input type="checkbox"/> 特定の能楽師(氏名:)の演能活動記録。 ※複数名いる場合は、全員の氏名を記入。 <input type="checkbox"/> 能楽データの保存・蓄積の為。 <input type="checkbox"/> 放送、雑誌掲載、展覧会掲示等 ※具体的に。 *別途契約締結を前提とする。 <input type="checkbox"/> その他 ※具体的に。				
撮影(録音)物の保管責任者					
インターネット配信 ※動画配信サイト、SNSへの掲載を含む。 (YouTube、Facebook、Twitter、Instagram等) 【注】「有」の場合は必ず遵守事項を守ること。	【遵守事項】 ●開示に際して ・閲覧者による転用、転載禁止を明記すること。 ・映像を使用する際は、30秒以内を目安とした部分利用に限り、転用、転載禁止を明示すること。 ・スペースのある限り、演目・流儀・演者名の順で、クレジット表記をすること。 ●本書式で定めるネット配信の範囲は、非営利目的利用(閲覧にあたって課金の生じないもの)に限り、営利目的利用の場合は別途権利処理(場合によっては契約書の締結)を必要とする。 <input type="checkbox"/> 有 [掲載サイト名又はURL] <input type="checkbox"/> 無				
主催者の許諾 【注】必ず主催者の許諾を得ること。	<input type="checkbox"/> 上記事項は主催者: _____ の許諾済みである。 <input type="checkbox"/> 申請者が主催者である。				
出演者への周知方法 【注】必ず出演者へ周知すること。	<input type="checkbox"/> 事前周知(出演依頼状に記載、書面通知、口頭内諾等) <input type="checkbox"/> 当日周知(楽屋掲示等) ※原則、書面での事前周知を基本とし、当日周知(楽屋掲示等)も必ず行うこととする。				
撮影者記入欄	【撮影(録音)に関する遵守事項】 ・フラッシュの使用、公演中の客席内での移動、指定された場所以外での撮影は禁止とする。 ・主催者、会場、出演者の指示に従い、上演・観賞の妨げとならないよう留意すること。 ・本書式で申請された目的以外で写真を使用する際は、必ず権利処理を行うこと。 ・ガイドライン(別紙)を遵守のこと。 年 月 日 撮影者署名: _____				

②担当出演者(能楽協会正会員) 記入欄

上記申請を許諾します。 年 月 日 署名: _____

■本書式のお取り扱い

本書式(チラシ又は当日プログラムの添付を含む)は申請者が保管し、能楽協会がコピーをお預かり致します。
 ※能楽協会への提出は、協会指定の書式回収窓口(指定能楽堂)、又は直接能楽協会宛に送付。

入場無料

入場にはチケットが必要です
(一部有料席あり)。

相模女子大学創立125周年記念
グリーンホール相模大野開館35周年記念
南区誕生15周年記念

第三十七回

相模原 世新能

たきいぎのう

演能 観世流

仕舞

仕舞

仕舞

狂言

能

「鶴

「老

「猩

「棒

「羽

「亀

「松

「々

「り

「衣

和合之舞

※演能前に出演者による能楽解説があります。

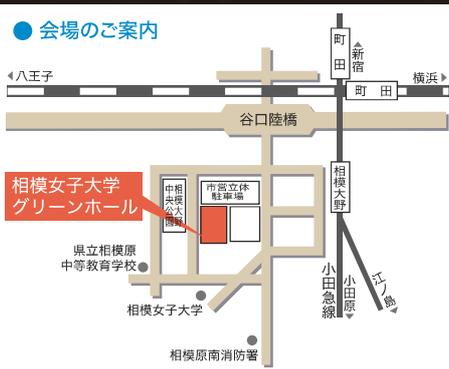
2025.

8/24(日) 13:30開演

13:00開場/15:50終演予定

相模女子大学グリーンホール・大ホール

小田急線相模大野駅
北口徒歩約8分



発売開始

S席(全席指定) 500円
7/19(土) 10:00

取扱開始

A席(全席指定) 無料
7/26(土) 10:00

チケットのお求め
お問合せ

チケットMove
☎ 042-742-9999
(10:00~19:00)

チケットムーヴ.net
<https://move-ticket.pia.jp/>



※取扱初日は、S席A席ともにチケットMove窓口での取扱いはありません(電話予約及びチケットムーヴ.netのみ取扱い)。

※S席A席ともに、チケットムーヴ.netで予約された場合は1枚につき手数料495円がかかります。

※小さなお子様もお一人様1枚のチケットが必要です(0歳から入場可)。

※車椅子席(無料・付添人1名まで)があります。ご希望の方はお電話でご予約ください。

※S席は1階前方から中ほどのお席です。 ※予定枚数に達し次第、販売及び取扱終了となります。

主催:公益財団法人相模原市民文化財団 学校法人相模女子大学 相模原市 協賛:一般財団法人ヘルス・サイエンス・センター きらぼし銀行相模大野支店
後援:相模原市教育委員会 相模原商工会議所 公益社団法人相模原市観光協会 協力:相模大野駅周辺商店会連合会 相模大野ステーションスクエア ポーノ相模大野

第三十七回 相模原薪能 番組

令和七年八月二十四日(日)
午後一時三十分開演

挨拶

能楽解説 松山隆之

《仕舞》

鶴 亀 土田英貴

老 松 梅若長左衛門

猩 々 松山隆之

《狂言》

棒 縛り 次郎冠者 山本則重
主人 山本泰太郎
太郎冠者 山本則秀

《能》

羽 衣 天女 松山隆雄
漁夫 村瀬 慧

笛 栗林祐輔
小鼓 田邊恭資
大鼓 佃 良太郎
太鼓 林 雄一郎

後見 松山隆之
梅若長左衛門

地謡 鷹尾雄紀 角当直隆
小田切亮磨 角当行雄
土田英貴 梅若紀彰

あらすじ

狂言「棒縛り」

家を留守にするたびに、太郎冠者と次郎冠者が酒の盗み飲みをしていると知った主人は、お仕置きに二人を騙して縄に縛り、そのまま出かけて行ってしまいます。縛られても懲りない二人は、酒蔵へ向かい、酒の匂いをかき出すと、矢も盾もたまらずに酒を飲みたくなってしまう。二人は縛られたまま器用に酒を酌み交わし、やがて舞いや謡いの酒宴をはじめます。そこにちょうど帰って来た主人が、酒盛りの有様を目撃して、問いただします。太郎冠者と次郎冠者はひたすら謝り、帰っていきます。

能「羽衣」

漁師の白龍が、今朝も三保の松原に来ると、松の枝に美しい衣を見つけ、持ち帰ろうとします。すると、美しい天女が現れ、その衣は天の羽衣だから返してほしいと頼みます。ところが、白龍は家宝どころか国の宝にすると返そうとはしません。

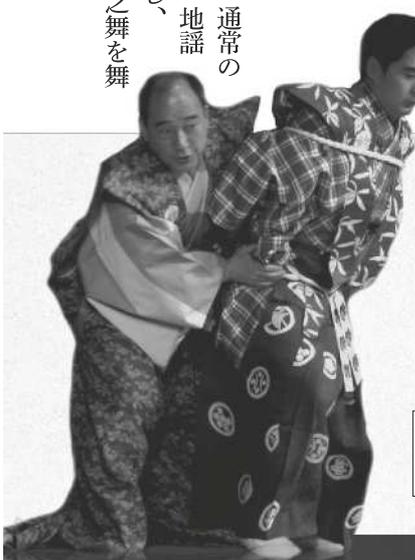
天女は羽衣なしでは天に帰れず、悲しみに沈みます。同情した白龍は、羽衣を返す代わりに天女の舞楽を所望すると、天女は、これを承知し、まずは羽衣を返してほしいと言います。白龍は、天女を疑いますが、嘘はつきませんという天女の言葉を信じ、羽衣を返します。

その羽衣を身につけた天女は、のどかな浦の景色を謡い、優美な舞を舞います。

さまざまな舞を披露したのち、天女は地上に宝を降らせませんが、時が過ぎ天上に帰る時間がきたので、大空の霞にまぎれて遙か天空へ舞い上がり、月に帰っていくのでした。

小書「和合之舞」

「小書」とは能の特殊演出のことをいいます。通常の「羽衣」では、天女が序之舞を舞い収めてから、地謡によって徐々に天に昇っていきます。これに対し、観世流による小書「和合之舞」では、天女が序之舞を舞いながら月に帰っていきます。



会場

相模女子大学グリーンホール (相模原市文化会館)

(小田急線「相模大野駅」北口より徒歩約8分)
〒252-0303 相模原市南区相模大野4-4-1
<https://hall-net.or.jp/01greenhall/>



お問合せ

公益財団法人 相模原市民文化財団
☎ 042-749-2207

125th Anniversary since 1900

35th Anniversary Green Hall

15th Anniversary SAGAMI UNIVERSITY

お客様へのお願い

2025年8月現在、相模女子大学グリーンホール隣接地にて建築工事が行われています。騒音等による影響がある可能性がございますので、予めご了承いただきますよう、お願いいたします。

ホームページでも情報を配信しています。

相模原市民文化財団

検索



@Sagami_BUNKA



@910ifmtq

